

2025 年 8 月 24 日午前 10 時 30 分

聖霊降臨節第 12 主日 主日礼拝

司会 廣瀬眞理

奏楽 徳江由利

讃美歌・詩編交読・信仰告白では起立をしますが、
お立ちになりにくい方は、座ったままでどうぞ。

(平和のあいさつ)

前 奏

招きのことば エフェソ 2:14-16, 19

讃美歌 7(1,4,5)「ほめたたえよ、力強き主」 一 同
交読詩編 57:1-12(P.65/61)

祈 り

司会者

《関東教区お祈りカレンダー》

宇都宮東伝道所 宇都宮上町教会 足利教会

(主の祈り)

讃美歌 122「地とそこに満ちる」

一 同

聖 書 旧約:エレミヤ 20:7-9(P.1214)

新約:使徒言行録 20:32-35(P.255)

メッセージ『語らずにはいられない言葉』

祈 り

川上 盾 牧師

讃美歌 511「光と闇とが」

一 同

献 金

一 同

(献金感謝の祈り)

信仰告白(平和の祈り(聖フランシス))

一 同

頌 栄 167(頌栄)

祝 祷

川上 盾 牧師

後 奏

報告・紹介

＜招きのことば＞エフェソ 2:14-16, 19

キリストはわたしたちの平和であります。二つのものを一つにし、御自分の肉において敵意という隔ての壁を取り壊し、規則と戒律ずくめの律法を廃棄されました。こうしてキリストは、双方を御自分において一人の新しい人に造り上げて平和を実現し、十字架を通して、両者を一つの体として神と和解させ、十字架によって敵意を滅ぼされました。…従って、あなたがたはもはや、外国人でも寄留者でもなく、聖なる民に属する者、神の家族なのです。

《8月礼拝当番》 岡安茂能 伊藤普史

佐藤道子 廣瀬眞理

斉田アントニーナ

《今週の集会・行事》

◎ 本日 13:00 CS午後礼拝

終了後、クリームソーダパーティ

◎ 25-26 日 牧師、同志社神学協議会(京都)

(同信伝道会の人事委員会も併せて開催)

◎ 28 日(木) 午前 婦人会お仕事会

◎ 30 日(土)9:30 会堂清掃 E 組

《次週の主日》カラコン(礼拝前の前職会について(聯合懇談会))

◎主日礼拝 10:30

メッセージ『あなたがたがやりなさい』 川上牧師

聖書:新約:マルコ 6:35-44(P.73)

讃美歌 8, 127, 516, 169(6)

交読詩編 128:1-6(P.148/144)

司会:饗場佐知子 奏楽:徳江由利

◎ 礼拝後 カラコンはなしあい

《予 告》

◎ 聖研祈祷会 9/3(水)10:30 & 19:30

◎ 9 月定例役員会 9/7(日)礼拝後

◎ 地区講壇交換(甘楽教会と) 9/14(日)

《報 告》

◎ 次週は“カラコン”です

カラコン(前橋教会のこれからを語り合う懇談会)は礼拝から始まります。以下の手順で進めます。

①座席を抽選で決める 受付でカードにより

グループに分けて座席を決めます。定席以外に座ることで、いろいろな人と知り合うことができます。

②礼拝前の自己紹介&平和のあいさつ 胸に名前シールを貼りグループ内で

「私の名前は〇〇です。主の平和がありますように」

③礼拝後、グループでもう少し詳しいの自己紹介 今回のお題は「私の長所・短所」

ただ語り聞くだけでなく、やりとりをして理解を深め合う。

④その後時間がある方ははなしあい 来年に迫った創立 140 周年について、

記念行事・イベントについての話し合いをします。話し合いの中から、創立 140 周年にふ

さわしいイベントが生み出されることを期待します。ご意見を考えておいて下さい。軽食(菓子パン)を用意します。

◎ 恵老礼拝 (9/21) ご案内

75 歳以上の方々に祝福を祈ります。礼拝後、愛餐会を行ないます。75 歳以上の方はご招待、それ以外の方は 300 円会費です。愛餐会に参加される方は、準備の都合がありますので必ずお申込み下さい。(9/14 まで切)

◎ 小型アップライトピアノ、いりませんか？

故・長田利江さんのご遺族より、長田さんが弾いておられたピアノ譲渡の申し出を受けました。高さ 1.1m、横幅 1.4m、奥行き 51cm のかなり小ぶりのピアノ(イタリア製)です。掲示板に写真を貼っておきます。希望される方は牧師までお申し出下さい。

◎ 小型アップライトピアノ、いりませんか？

故・長田利江さんのご遺族より、長田さんが弾いておられたピアノ譲渡の申し出を受けました。高さ 1.1m、横幅 1.4m、奥行き 51cm のかなり小ぶりのピアノ(イタリア製)です。掲示板に写真を貼っておきます。希望される方は牧師までお申し出下さい。

故・長田利江さんのご遺族より、長田さんが弾いておられたピアノ譲渡の申し出を受けました。高さ 1.1m、横幅 1.4m、奥行き 51cm のかなり小ぶりのピアノ(イタリア製)です。掲示板に写真を貼っておきます。希望される方は牧師までお申し出下さい。

故・長田利江さんのご遺族より、長田さんが弾いておられたピアノ譲渡の申し出を受けました。高さ 1.1m、横幅 1.4m、奥行き 51cm のかなり小ぶりのピアノ(イタリア製)です。掲示板に写真を貼っておきます。希望される方は牧師までお申し出下さい。

《先週の集会》

	礼拝堂	オンライン	献 金
主 日 礼 拝	53		32,847
交流BBQ(日)			

《メッセージ》「あのならず者が…」 川上 盾 牧師

ヨナ 3:1-5, 使徒言行録 9:26-31(8 月 17 日)

▼映画『教皇選挙』を見ていて、ある候補が有利な得票を得ると過去のスキャンダルが暴露され、選挙から漏れていくという場面が続いた。見ながら、「過去のことを引き合いに出されたら、誰も選べなくなるのでは?」と思った。

▼今日の二つの箇所は、いずれも過去に過ちを犯した、「腰に傷持つ者」の物語である。▼旧約はヨナ書。預言書の中でも一風変わった、物語仕立ての預言書である。

ある日ヨナは神さまから「ニネベ(チグリス川沿いの大都市)に行って、『この街は罪故に滅びる』と語りなさい」という命令を受ける。しかしヨナは従わず、逃匿行を始める。

▼船の中で逃匿行の理由が示して、海の中に放り込まれるが、魚に吞まれその腹の中で何とか生き延びる。そしてそこで悔い改め、陸に吐き出された後、心を入れ替えてニネベの街に預言を語りに行く…。

▼物語はこの後も続き、その顛末にも重要なメッセージがあるのだが、今日は一度は神の命に背いたヨナを、それでも神は預言者として用いられたという点に注目したい。大切な責任ある仕事から逃げてしまった経験は、誰にでもあるだろう。しかしそのことで「即失格!」となるわけではない。神は「腰に傷持つ者」を、それでもご用のために用いられる。

▼新約は初代教会最大の伝道者・パウロの物語。彼は以前は教会の人々を迫害するファリサイ派の律法学者だった。使徒のひとり・ステファノの殺害に関与していたことも記されている。しかし Damascus 途上で幻のイエスと出会い、心が 180 度入れ替わる回心を経験した(「目からうろこ」)。

回心したパウロはイエス・キリストを伝える働きを志し、使徒たちの活動に加わっていった。今日の箇所はその初動の場面である。▼仲間に加わろうとしたパウロを「皆は弟子だと言わないで恐れた」と記されている。しかしパウロの釈明によって信頼を得て、活動に加わることができた、と続くのだが、事はそんなに簡単ではなかったと想像する。ついこの前まで、仲間を殺そうとしていた人物である。そんなパウロが宣教の同士となるまでに、多くの葛藤や紛糾があったのではないだろうか。

▼しかしそのような人を用いて、神の宣教の物語は紡がれていくのである。何の罪も犯さない、過ちを一度も犯したことのない人だけがその業を担うわけではないのだ。

▼この夏、私は半世紀ぶりに自分自身の過ちと向き合い、懺悔する時を与えられた。高校時代に若気の至りで暴行事件を犯し停学処分を受けた。その被害を負わせた同級生と、ひょんなことから再開を果たすことができたのだ。彼にとっては「あのならず者が!」という記憶が残る再会이었다と思う。しかし 50 年の時を経て大人になった彼は、穏やかに言葉を交わしてくれた。

▼「人はみな罪人」—それが聖書の冷徹な人間理解である。しかしそれは絶望的な滅びの宣告ではない。悔い改めれば赦される、そして用いられる。…そんな神の声を聞こう。